

東京大学史料編纂所 特任研究員・学術支援専門職員の募集

概要：平成 19 年度～平成 23 年度科学研究費補助金(学術創成研究費)「目録学の構築と古典学の再生—天皇家・公家文庫の実態復原と伝統的知識体系の解明—」(研究代表者 東京大学史料編纂所教授 田島 公 [課題番号：19G S0102])は、本年 4 月より 4 年目に入り、禁裏・公家文庫収蔵典籍・文書に詳しい日本古代史の特任教授(編纂所での呼称は客員教授)を新たに迎え、研究課題の遂行に邁進します。これに伴い、禁裏・公家文庫収蔵古典籍・古文書の「デジタル画像内容目録」の作成、デジタル画像の集積の補助(データの大型画像サーバーへのアップ)など前近代の古典籍の目録学的研究、『日本古代人名辞典』の増補・改訂に関する作業と研究、「日本、中国・朝鮮対外交流史年表」の増補改訂・データベース化、陽明文庫所蔵典籍目録の作成・「十五函文書」の調査研究、正倉院事務所所蔵「東南院文書」の撮影立会・研究、東京国立博物館所蔵九条家本「延喜式」の研究等の他、上記科研の研究活動の運営・サポートが行える日本古代史専攻の研究職員・研究支援職員を募集します。

機関・部署名：東京大学・史料編纂所

所在地：〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1

職種：特任研究員(博士号取得者または平成 22 年度に博士号取得予定者) 2 名
学術支援専門職員(博士後期課程単位取得者) 3 名程度

勤務形態：週 1 日 7 時間～週 3 日 21 時間程度。給与は本学の規定による。

応募資格：次の各要件を満たす者。

- (1) 特任研究員は、日本古代史専攻で博士号取得者、または平成 22 年度中に確実に博士号を取得出来る者。学術支援専門職員は、日本古代史専攻で、大学院博士後期課程単位取得の学歴を有する者。
- (2) 特任研究員は、禁裏本に関する論文または史料紹介があり、禁裏本の調査の経験を有するなど、禁裏本及び禁裏文庫についての研究に熟知している者。
- (3) 日本古代史の査読論文を、特任研究員は 3 本以上、学術支援専門職員は 2 本以上、有する者。
- (4) 本科研の研究代表者・特任(客員)教授の指導のもと、協調して研究及び研究支援が出来る者。古典籍・古文書の原本の慎重な取り扱いが出来る者。
- (5) 史料を保存してきた所蔵先の立場を十分に尊重し、集積したデジタル画像や作成した目録データの取り扱いに関して、研究代表者の指示に従える者。
- (6) コンピュータの操作に堪能である者。

募集期間：平成 22 年 2 月 9 日(火)～2 月 22 日(月) (必着)

採用予定日：平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日 (1 年間)

(特任研究員のうち 1 名は平成 22 年 4 月 1 日～12 月 31 日の 9 ヶ月間)

提出書類：

(1) 履歴書(写真貼付)。下記にある書式で提出下さい。No2 も忘れずに。

<http://www.u-tokyo.ac.jp/recruit/pdf/yousiki.xls>

(2) 研究業績リスト(様式は任意だが、論文・史料紹介等の他に禁裏・公家文庫等の調査歴を分けて記述すること)。

(3) 指導教員の推薦状(様式は任意)。特任研究員の場合は、博士論文の審査に主として関わった教員または関わる予定の教員の推薦状。

(4) 主要査読論文のコピー(特任研究員は 3 本以上、学術支援専門職員は 2 本以上)。それぞれ論文の要旨をつけること。

(5) 学術支援専門職員の場合は、大学院博士後期課程単位取得の証明書。

(6) 学術支援専門職員の場合は、志望動機を 2000 字程度でまとめたもの。

(7) 特任研究員の場合は、博士号の学位記の写しまたは博士号所得の証明書。平成 22 年度内に博士号取得予定者は、大学院博士後期課程単位取得の証明書及び指導教員の推薦状に博士論文の進捗状況を明示すること。

(8) 特任研究員の場合は、博士論文または提出予定論文の全文のコピー及び要旨(6000 字以内)。採用された場合の「研究計画書」(2000 字程度)。

送り先：表に「特任研究員(学術創成研究費)応募書類在中」または「学術支援専門職員(学術創成研究費)応募書類在中」と朱書の上、下記に、提出期限までに簡易書留等配達記録が残るもので送付すること。但し、平日の 9 時～12 時、13 時～17 時に限り、持参してもよい。

〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1

東京大学史料編纂所事務部総務・給与チーム係長 堀

問い合わせ先：

東京大学史料編纂所・古代史料部門・教授 田島 公

Eメールの場合は、tajima の後に、@hi.u-tokyo.ac.jp をつけて下さい。

科学研究費補助金(学術創成研究費)「目録学の構築と古典学の再生—天皇家・公家文庫の実態復原と伝統的知識体系の解明—」の概要は、東京大学史料編纂所のホームページ上の「<http://www.hi.u-tokyo.ac.jp/kodai/kinri-kuge-index.html>」を参照のこと。

選考方法：応募書類により選考し、適任者に関して随時面接を行う。面接に際しては、日本古代の史料の読解に関する試験を行うこともある。
(面接に伴う交通費等は支給しません)

備考：応募書類は返却しません。